

## ● 新規購入図書紹介

図 書 名	著 者	出 版
<b>議 会</b>		
地方自治小六法 平成31年度版	地方自治制度研究会(監修)・学陽書房編集部(編)	学陽書房
<b>社 会</b>		
子どもの人権をまもるために	木村 草太(編)・内田 良	晶文社
総介護社会 介護保険から問い直す	小竹 雅子	岩波書店
世界の空き家対策 公民連携による不動産活用とエリア再生	米山 秀隆(編著)・小林 正典・室田 昌子 ほか	学芸出版社
<b>そ の 他</b>		
マーケットでまちを変える 人が集まる公共空間のつくり方	鈴木 美央	学芸出版社
広報・P R・販促担当者のための〈伝わる〉コンテンツ制作ガイド	井上 綾乃(編)・山賀 沙耶(編)	ビー・エヌ・エヌ新社
都市交通のモビリティ・デザイン まちづくりと公共交通を中心に	中村 文彦	サン・ネット
学校をブラックから解放する	教職員の働き方改革推進プロジェクト(編)	学事出版
未来を変える目標 SDGs アイデアブック	Think the Earth(編著)・蟹江 憲史(監修)・ロビン西(マンガ)	Think the Earth
少子化に対応した学校教育充実の処方箋 進む学校の小規模化にどう向き合うか	高橋 興	ぎょうせい
健康の経済学	康永 秀夫	中央経済社
プロケースワーカー100の心得	柴田 純一	現代書館
ごみ収集という仕事	藤井 誠一郎	コモンズ

## 400年の歴史を振り返る！

今年一年を振り返ってみると、和歌山市では和歌山城再建60周年を記念し、天守閣の無料開放や和歌山公園でのアウトドアイベント、10月1日には還暦を祝って和歌山城を紅白にライトアップするなど、様々なイベントが開催されました。例年とは違ったにぎわいを見せた和歌山城ですが、来年、徳川家が親藩となる“紀州徳川家”が誕生して、400周年を迎えます。そこで、徳川御三家のひとつでもある“紀州徳川家”について調べてみました。

紀州藩は、慶長5年(1600)、浅野幸長が紀州藩主として入国したことが始まりです。徳川家が治める紀州藩は、元和5年(1619)に、徳川頼宣が55万5千石を領して和歌山に入国したことで成立しました。

こうして始まった紀州藩は、大坂と江戸を直結する航路の重要拠点となり、さらには、第5代藩主徳川吉宗と第13代藩主徳川慶福がそれぞれ第8代将軍、第14代将軍となるなど、徳川御三家にふさわしい繁栄をみましました。

また、明治期の廃藩置県により紀州藩が廃止された後も、15代当主徳川頼倫が国内初となる私設図書館“南葵(なんき)文庫”を東京に創設するなど、紀州徳川家の活躍は後を絶ちませんでした。

今回、紀州徳川家についてほんの一部の紹介になりましたが、議会図書室には「南紀徳川史」や「紀州史研究」など紀州徳川家について書かれている本がありますので、ぜひ読んでみてください。

紀州藩領地

